

令和5年度 第3回 早島支援学校 学校運営協議会 【記録】

1 日 時 令和6年2月28日（水）13：30～15：30

2 会 場 岡山県立早島支援学校 大会議室

3 参加者 ・学校運営協議会委員7名（御欠席 名倉様 藤原様 三好様）
・学校（事務部長、副校長、各部教頭、主幹教諭、総括教務、交流ボランティアチーフ、
学校安全チーフ）11名

4 内 容

（1）開会行事

①開会挨拶

＜校長＞

- ・卒業式後、高等部卒業生は社会に出ていく。社会に受け入れられて人生を送ってほしい。
- ・今年度の振り返りと来年度について。学校経営計画にご意見もいただきたい。またグループ協議も予定している。

②日程説明

＜事務局＞

（2）説明・協議

＜進行：会長＞

○重点協議事項「地域に開かれた学校づくり」に関する取組について

・令和5年度の取組

＜副校長＞

- ・学校支援に関する取組。校内実習、現場実習。授業の中で作業学習を行い販売に取り組んだ。
- ・高等部社会人講師授業、AB中学部進路講演会、生徒も積極的に参加していた
- ・進路について語る会。卒業生3名を囲み、生徒は生の声を聴く機会となった。
- ・実習報告会。
- ・移行支援会議。子供たちが安心して進路先に行けるように。
- ・早島小との交流もZoomで行われた。
- ・院内学級の参観が行われた。
- ・学校ボランティアに3名登録があった。

中島会長 JFEアップルでは、社内メール配信。在宅職員もまもなく誕生し開始予定。

副校長 在宅ワークの可能性は増えてきていると感じている。

谷本委員 進路先の情報は

西山教頭 新しい勤務先の開拓をしている。在宅も広げていきたいと考えている。

○来年度の学校経営計画について

＜校長＞

- ・環境分析では、早島の立地の良さを考えていけたらと考えている。
- ・具体的な学校経営目標では、教育DXを推進し、デジタル技術を使い、子どもの指導を充実させたい。
- ・自立活動と各教科の関連について整理し、専門家の助言もいただきながら、指導を充実させたい。
- ・医療的ケアでは、保護者の負担を軽減していけるようにしたい。
- ・今年度出た課題を来年度につなげていく。防災では、訓練を重ねていくことを大切にしたい。働き方改革も進めていきたい。」

谷本委員 学校給食での対応で多いのは。

校長 アレルギーが多い。
 谷本委員 食の形態のトラブルなどはどうか。給食について、他県では事故のニュースもあった。
 校長 本校ではそばについていることが多いが、気をつけていきたい。
 野中委員 防災では、早島町と何か協定をむすんでいるのか。
 事務部長 協定をむすんでいる、
 野中委員 早島町でも防災についての取組を進めていきたい。

○グループ協議

協議題「来年度に向けて」

- ・安全班（谷本様、中島様、花元様、久本校長、斉藤教頭、中山教頭、佐宮教頭、酒井総括教務、学校安全チーフ）

意見

- ・ 合同訓練の実施…学校、児童生徒、医療、地域住民、地域の町の学校と。
- ・ 宿泊防災訓練、避難所見学ツアー、共同備蓄チェック
- ・ 防災食レシピ、非常食試食会、炊き出し、太陽光などで煮炊き体験
- ・ 合同ワークショップ開催、BCP（復旧計画）、
- ・ 避難所運営について、早島町との話し合い

- ・地域交流班（野中様、中元様、藤本様、事務部長、江口副校長、末吉教頭、西山教頭、佐々木主幹、交流ボランティアチーフ）

視点①子どもがいかに関わり出していけるか

例えば、販売を通して交流ができるために、販売ができる場所や人のアイデア

野中委員 ・社会福祉協議会を活用して。ぜひ来てほしい。
 ・社協にきているボランティアが、中庭の園芸をしたいと申し出があった
 ⇨ 支援学校さんと一緒に花植え出来たら
 B型で花の苗を扱っているところを探し中
 ・来年度ネット環境の整備を進めようとしているのですが、環境が整ったら利用して貰えば
 ・午前10時から午後3時までは人が出入りしているので支障はない

西山教頭 ・展示の様子も、実際に観てもらいたい

中元委員 ・ロボットに会いに行こうと思ったが、時間が限られていた。
 ・いきいき広場に、スロープをつけたりして、子どもが見れたら。
 ・いきいき広場（生涯学習まつり）に出展しても良いのでは。
 ・デイサービスの方と交流しては。

末吉教頭 ・スロープの問題は、声を上げて改善できれば。

藤本委員 ・早島中学校2年生が、1月20日は「早島の日」としてイベントを開催。そこコラボできたら。

交流チーフ ・来年度は、社会科見学や校外学習と合わせて見学に行けたらいいな。

視点②地域の方が学校にくる⇨働き方改革につながるようなヒント

- 野中委員 ・早島支援学校の桜が綺麗なので、町民の方がご存じかどうか分からないが、お知らせして、みて貰っても良いのでは？それをきっかけに、来てもらっても。「早島桜まつり」で、公園以外に早島支援学校もPRできたら。
・解放DAYがあれば、お知らせしやすい。
- 中元委員 ・「早島桜まつり」のキャッチフレーズを一緒に考えたら？
・デイサービスを利用している方が、お散歩を兼ねて早島支援学校に来れたら。
・婦人会会長さんも、いきいき広場の実行委員なので、そういうネットワークを使いながら、繋がって行けたら。
- 副校長 ・ミシンの方は、前回紹介していただき、ご挨拶に行かせていただきました。

○グループ協議の内容の共有

(3) 各委員から

- 谷本委員 学校のこと、早島町のこと、お互いに知る必要がある。防災にしても、できること、問題点を聞かないとわからない、ワークショップなどで意見交換できれば。
- 野中委員 地域資源の活用が大切。この話し合いで少し進み、先生方の負担軽減にもつながれば。
- 中元委員 早島生まれ、育ち。早島の良さ、自然の多さを、みんなに知ってほしい。協力によってもっといい取り組みができるのでは。
- 藤本委員 関わることで、4年生が交流もでき、少しずつ積み上げができています。子ども同士の交流は必要。来年度は工事があるが、回数、直接交流を増やしていきたい。
- 花元委員 支援学校を知らない方は多い。人材不足、学校の教員を目指す人にも、その魅力を発信していくことができれば。地域の人にも、子どもたちの楽しそうな様子を知ってほしい。学校経営計画の中で、通常学校の中での医療的ケア、経験も実績もあるので、センター的機能を発揮するとともに、県から予算が下りるようになればいいと感じている。
- 中島委員 災害があちこちで起きている。藤戸では、防災公園と備蓄倉庫が整備されていることを見学した。総社の防災公園でも炊事ができるベンチがあるが、イベントに参加しておきたい。阪神の震災時にボランティアで現地に入った。ボランティアのマネジメントが必要だとわかった現場だった。学校の、実際の想定をした訓練をしてみることも必要ではないか。能登の大きな災害に、倉敷市からも自ら手を挙げて現地に派遣している。この経験が次に生かしていければ。

(4) 閉会行事

- ・卒業式をコロナ禍以前の形式で、開催の案内を送らせていただいた。
- ・入学式も従来の形式に戻す予定。また案内を送る。

学校運営協議会委員

氏 名	職 名
谷本 安	独立行政法人国立病院機構 南岡山医療センター院長
野中 亨介	早島町社会福祉協議会 事務局長
中島 英彦	倉敷市役所保健福祉局こども未来部子育て支援課
名倉 彰子	岡山障害者職業センター 所長
中元 保子	早島町愛育委員会 会長
藤原 雅裕	株式会社 First 就労継続支援 B 型事業所ふぁ～すと 代表取締役
三好 祐也	ポケットサポート 代表理事

藤本 真砂子	早島町立早島小学校 校長
久本 晃司	岡山県立早島支援学校 校長
花元 晴美	本校 P T A 会長

※ この後、引き続き学校関係者評価委員会を行います。